

今月の御教え

人間は万物の霊長であるから、

万物を見て道理に合う信心をせねばならぬ。

……金光教祖御理解 第七十節……

解説

「人間は『万物の霊長(天地万物の中で神に次ぐ最も優れた存在)』であるのならば、すべての生物に対して、その霊長としての資格に恥じぬ、天地の道理に合った生き方をせねばならぬぞ。」との御教えであります。

天地の道理といえは、例えばお日様の働きであります。お日様は、季節に忝じて日々怠りなく決まった時間に出てきて天地を遍く照らし、植物、動物を育み止まぬものであります。たとえ人間がその恩恵に気付かずとも、変わることもなくお働き下され、又、地球上のあらゆることを、分け隔てなく遍く照らしているのであります。私達も、この様な普遍平等の生き方をすることが天地の道理であります。即ち『神人あいよかけよの生活運動』にありますように「神のおかげにめざめ、お礼と喜びの生活をすすめ、神心となって人を祈り助け導く」事こそが、正しく『天地の道理に合う信心』ではないでしょうか。

明年平成二十八年の春、四月二十四日(日)にお迎えする当西条教会の設立百十年の記念大祭も、後一年を切りましたが、それまでの間、共々に勢を揃えて信心の稽古に励みましよう。